

新教育長に橋本康雄氏が就任



令和2年4月から教育長を務めた箕浦昭彦氏が、令和8年3月31日付けで辞職しました。後任として橋本康雄氏が選任され、令和8年3月議会の同意により、令和8年4月1日付けで教育長に就任しました。

ごあいさつ



伯耆町では、溝口町時代を含め、教職員として12年、教育委員会事務局で3年、計15年間勤めさせていただきました。その間、保護者の皆様、地域の皆様に大変お世話になりました。

この度、教育長を務めさせていただくことになりました。重責ではありますが、これまでの経験を活かしつつ、皆様のご協力をいただきながら、伯耆町の教育行政が充実していくよう、力を尽くしてまいりたいと思います。

町民の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

認知症地域支援推進員活動報告

Vol.15



オレンジ通信

～地域でともに～

認知症サポーター養成講座 〈子ども編〉を開催しました

おしらせ

INFORMATION

令和7年度は町内3カ所の小学校で、社会福祉協議会と“障がい老人をささえる家族の会”と共催の『認知症サポーター養成講座』を実施しました。

認知症のおじいちゃんをテーマにした寸劇や講義を通じて、認知症の症状が起こる理由や適切な関わり方について知ってもらう機会となりました。合計88人の生徒が認知症サポーターとなり、サポーターの証としてオレンジリングを贈呈しました。

生徒の感想

- ・こんなにすぐに忘れるんだと知りました。
- ・認知症の人が忘れてたり、家に帰って来られなかったりすると、本人も家族も不安になるとわかりました。
- ・おばあちゃんが認知症なので、助けていきたいです。
- ・認知症になると、色々大変なこともあるかもしれないけれど、家族がなったら、怒らずに優しい声かけをしたり、わかってあげたいと思います。

講座を経て、認知症のことを自分事として一緒に考えることができ、感想からはたくさんの生徒達が温かい言葉を届けてくれました。

認知症サポーター養成講座は、学校、企業、集落など、ご希望があればどこでも開催できます。人生の備えとして、話を聞いてみませんか？ご希望の際は、伯耆地域包括支援センターまで気軽にお問い合わせください。



認知症サポーター・ 認知症サポーター養成講座とは



認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見かけた時、自分のできる範囲で手助けしたり、温かく見守る応援者のことです。認知症サポーターを養成する講座を、認知症サポーター養成講座といいます。



問い合わせ先

伯耆地域包括支援センター

0859-68-4632